

海を愛するタモリの日本一楽しいヨットレース

タモリカップ富山大会2015

帆走指示書

(Sailing Instructions)



TAMORI CUP

YACHT RACING

JAPAN TOUR 2015 **TOYAMA**

期 間：2015年7月18日（土）～7月19日（日）

開催場所：富山県射水市 富山県新湊マリーナ

競技種目：セーリングクルーザー

共同主催：タモリカップ実行委員会、富山県セーリング連盟

後 援：（公財）日本セーリング連盟、富山県、射水市、射水市教育委員会、（公財）伏木富山港・海王丸財団

美しい富山湾クラブ、株式会社北日本新聞社、富山テレビ放送株式会社

協 力：富山県小型船交通安全協会、新湊漁業協同組合、とやま市漁業協同組合

タモリカップ富山大会2015

帆走指示書

(Sailing Instructions)

1. 規則

本レガッタは、セーリング競技規則（以下「規則」という）に定義された規則を適用する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、レガッタオフィス（富山県新湊マリーナ特設会場）前に設置される公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、スタート予定時刻の120分以上前に、公式掲示板に掲示する。

4. 陸上で発する信号

陸上で発する信号は、レガッタオフィス前に設置された掲揚ポールに掲揚する。

5. レース日程

5.1 レース日程

7月18日（土）	13：00～15：00	登録受付（富山県新湊マリーナ クラブハウス）
	16：00～17：00	艇長会議&安全セミナー （海竜スポーツランド アリーナ）
	18：00～21：00	前夜祭 大バーベキューパーティー （富山県新湊マリーナ特設会場） 司 会：林 藍菜 ゲスト：オルケスタ・デ・ラ・ルス
7月19日（日）	9：00～9：40	海上パレード（海王丸パーク）
	9：45～10：00	ディンギーレース（海王丸パーク）
	11：05 11：15 14：20	イグアナクラスのスタート予告信号予定時刻 いいともクラスのスタート予告信号予定時刻 全グループのタイム・リミット
	15：30～17：00	表彰式 ビアパーティー（富山県新湊マリーナ特設会場）

5.2 本大会は1レースとする。

5.3 予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6. クラス旗

クラス旗は、次の通りとする。

グループ	クラス旗	リボン	クラス
いいともクラス	黄緑色旗	黄緑色	いいともAクラス；大会主旨を正しく理解している船（スピンの無し） いいともBクラス；そこそこ速そうな船 いいともCクラス；わりと速そうな船 いいともDクラス；速そうな船
イグアナクラス	ピンク色旗	ピンク色	イグアナAクラス；かなり速そうな船 イグアナBクラス；一目置かれている船 イグアナCクラス；大会主旨を理解しているか不明な船

リボンは各艇のマストトップにつける。

7. レース艇の識別

それぞれのクラスの「グループリボン」と個艇識別用の「バウ・ナンバー」は、7月18日（土）の受付登録時に配布する。バウナンバーを貼る場所は、十分乾燥させてから付けること。

8. レース・エリア

添付図1に、レース・エリアの位置を示す。富山市四方沖から富山県新湊マリーナ沖の水域。

9. コース

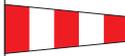
- 9.1 添付図Aの見取り図は通過する定置網、錨泊地ブイ、マークの順序および、どちら側に見て通過するかを含むコースを矢印にて示す。
- 9.2 錨泊地に設置してある標識ブイ（赤ブイ3か所、緑ブイ3か所）の間を必ず通過すること。
- 9.3 コースの短縮は、「S旗」  を掲げるレース・コミッティー・ボートの「オレンジ色旗」を掲揚しているポールと錨泊地にある最も沖合の赤ブイとの間とする。

10. マーク

- 10.1 回航マークはオレンジ色の円筒形のブイとする。
- 10.2 スタート・マークとフィニッシュ・マークはオレンジ色の円筒形のブイとする。

11. スタート

- 11.1 スタートは規則26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前として、スタートさせる。

スタートまでの時間	信号種類	視 覚 信 号	音声信号
レース延期	回答旗	 回答旗	2 声
5分前	予告信号	クラス旗（掲揚）↑	1 声
4分前	準備信号	  P旗 又は I旗 （掲揚）↑	1 声
1分前	（1分前）	P旗 又は I旗 （降下）↓	長音1声
0	スタート信号	クラス旗（降下）↓	1 声

・リコールの場合

音響信号1声と共にX旗  を掲揚する。X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。

・ゼネラル・リコールの場合

音響信号2声と共に第1代表旗  を掲揚する。

新しいスタートの予告信号は第1代表旗降下の1分後に発する。

- 11.2 スタート・ラインは、スターボードの端となるスタート・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールまたはマストと、ポートの端となるスタート・マーク（オレンジ色の円筒形ブイ）のコース側との間とする。
- 11.3 イグアナクラスは、スタート信号の7分以降にスタートする艇は、審問なしにDNSと記録される。いいともクラスは、スタート信号の15分以降にスタートする艇は、審問なしにDNSと記録される。この項は規則A4を変更している。
- 11.4 ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせるためレース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも第1代表旗を掲げる場合がある。ただし、その場合は音響信号は発せられない。また、当該レース委員会艇が行う第1代表旗の降下については、競技規則レース信号「予告信号は降下の1分後に発する。」の意味は持たないものとする。

12. リコール

リコールについては、規則29に従って行われる。また、いずれかのグループのスタートがゼネラル・リコールとなった場合、以降のグループのスタート予告は、指示5.1（レース日程）における時間差を継続して順次繰り下げて行われる。

13. コースの次のレグの変更

スタート後のコース変更は行わない。

14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは「青旗」を掲揚したレース・コミッティー・ボート上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールとスターボード側のフィニッシュ・マーク（オレンジ色の円筒形ブイ）のコース側との間とする。

15. ペナルティー方式

規則44.1を変更し、「2回転ペナルティー」を「1回転ペナルティー」に置き換える。

16. タイム・リミット

タイム・リミットは、全クラス14:20とする。14:20までにフィニッシュしなかった艇はDNFとして記録される。これは規則35を変更している。

17. 抗議と救済の要求

17.1 抗議締切時刻は最終艇がフィニッシュした後、40分とする。この項は規則61.3を変更している。

17.2 抗議書は、レガッタオフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は適切な時間内にレガッタオフィスに提出されなければならない。

- 17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後15分以内に通告を掲示する。審問はプロテスト委員会室の中の区切られたスペース、または隣接する部屋にて掲示した時刻に始められる。
- 17.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議を規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 17.5 審問再開の要求は、判決を通告された後15分以内に提出されなければならない。この項は、規則66を変更している。
- 17.6 プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の通告から15分以内に提出されなければならない。これは規則62.2を変更している。

18. 得点方法

- 18.1 艇の得点はレース所要時間をタモリカップレース委員会の定めるレーティングを使用した修正時間により順位を決定し得点を与える。
- 18.2 シリーズの成立には1レースを完了する事が必要である。また、算出された修正時間が同じ場合、レーティング値の小さい方を上位とする。

19. 安全規定

19.1 チェックアウトとチェックイン

- (a) 出艇申告は、海上パレード時に「L旗」  を掲揚したレース・コミッティー・ボートからリコールナンバーを呼び出し、側を通過する事で完了する。

なお、当日に出艇を取りやめる艇は、レース当日 8 : 30 ~ 9 : 30 の間に大会事務局へ連絡をすること。

- (b) 着艇申告は、フィニッシュする事で完了される。

- 19.2 レースからリタイアする艇は、レース・エリアを離れる前に、出来るだけ早くレース・コミッティー・ボートに伝えること。
- 19.3 (a) 艇体および装備品は使用に足るレベルに十分に整備されていること。
- (b) 船舶安全法に基づく「限定海域」以上の基準を満たしている艇であること。
- (c) ヨット賠償責任保険に加入していること。
- (d) 通信手段として正常に機能する国際 V H F および携帯電話のいずれか一つ以上を装備していること。
- 19.4 定置網の側にいる警戒艇の指示にかならず従い、警戒艇と定置網の間には入らないこと。

20. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りとする。

タモリ艇	タモリカップ旗
レース・コミッティー・ボート	タモリカップのぼり
警戒艇	タモリカップのぼり

21. 賞

- 21.1 総合優勝に『タモリカップ』を授与する。
- 21.2 各クラス優勝を表彰する。
- 21.3 その他、特別賞。

22. 責任の否認

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。規則4『レースをすることの決定』参照。

主催団体及びこれに関わる全ての団体、役員その他全ての関係者は、競技者がレガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後において受けた物的損傷または個人の負傷もしくは死亡に対して責任を否認する。

タモリカップ富山大会、会場図 (1 / 50,000)

